

## 【目指す方向 行動目標】

○けん診を受診し、自分の健康状態を知ろう。

○健診結果を活用し、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に役立てよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。□（単年度実施のものでも構いません）

## 基本目標Ⅲ 生活習慣病の早期発見と重症化予防～けん診～

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず)

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

取組・事業	内容	担当部署	R3(2021)年度 取り組み計画	R3(2021)年度 実績	進捗状況	R4(2022)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・けん診受診の啓発	医療機関や薬局で、けん診受診や健康手帳の活用を呼びかけます。	医師会 薬剤師会	●医療機関でけん診の受診勧奨に関するポスター掲示や啓発リーフレット等の配布を実施	会員薬局店頭で啓発資材の掲示等や個別の受診勧奨を実施。	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	国保特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上 特定健康診査の受診率 全体 31.8% 特定保健指導の実施率 全体 15.4%	国保特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上 特定健康診査の受診率 全体 37.0% 特定保健指導の実施率 全体 17.3%	A A	60% 60%
	啓発チラシ等を活用して、けん診の大切さや機会の周知を行います。	健康推進員連絡協議会	●特定健診、生活習慣病予防、乳がんについて学習し、自分自身、家族等へ周知を実施	●特定健診、生活習慣病予防、乳がんについて学習し、自分自身、家族、周囲の人へ周知した。	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	国保特定健康診査・特定保健指導におけるメタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少 40歳以上男性 44.7% 40歳以上女性 17.6%	国保特定健康診査・特定保健指導におけるメタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少 40歳以上男性 44.0% 40歳以上女性 18.5%	B B	↘
	企業や就労者にけん診受診の啓発や機会の提供を行います。	商工会	●会員事業所事業主・従業員の生活習慣病予防のため、健康診断を実施	会員事業所の生活習慣病と定期健康診断、大腸がん検診を6日間に亘って実施した。	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・学校健診での健康に関する意識の啓発	学校の健診結果を通して、子どもが自らの健康状態を把握することによって、健康に対する意識を高めていきます。	市立小中学校	小学校 ●健康診断事前・事後の保健指導実施 ●ほけんだよりや学校保健委員会で結果等の周知 ●年2回視力検査の実施。 ●定期健康診断結果を全保護者に報告する。必要に応じて受診勧告や健康相談をする。 中学校 ●健康診断を通して、自分の身体に興味関心を高める。必要に応じて受診勧告を行う。 ●事前に保健だよりを配布し、健康診断に対する意識を高める。	小学校 ●健康診断事前・事後の保健指導実施 ●ほけんだよりや学校保健委員会で結果等の周知 ●年2回視力検査の実施。 ●身体測定時の保健指導の実施。 ●定期健康診断結果を全保護者に報告する。必要に応じて受診勧告や健康相談をする。 中学校 ●健康診断を通して、自分の身体に興味関心を高める。必要に応じて受診勧告を行う。 ●事前に保健だよりを配布し、健康診断に対する意識を高める。 ●健康相談についての啓発。	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・小中学校でのがん教育の推進	学習指導要領の改訂を踏まえて、各小中学校でのがん教育を推進します。	市立小中学校	小学校 ●6年生がん教育の実施(がん検診について盛りこむ) ●学校保健委員会のテーマとし、よりよい「がん教育」の指導を考えていく 中学校 ●保健の授業でのがん教育の実施	小学校 ●6年生の保健で外部講師を招いたがん教育の実施(がん検診について盛りこむ) (コロナの関係で担任によるがん教育を実施した学校も一部あった。) 中学校 ●保健の授業でのがん教育の実施	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・妊婦健康診査	妊娠中の異常の早期発見・早期対応を行い、安心して出産が迎えられるよう妊婦健康診査を実施します。	健康増進課	●母子健康手帳発行時に栗東市母子健康手帳別冊を交付し、妊婦健康診査に対する助成を実施。(双胎には、更に5回分の助成を追加)	●母子健康手帳発行時に栗東市母子健康手帳別冊を交付し、妊婦健康診査に対する助成を実施した。(双胎には、更に5回分の助成を追加)	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・乳幼児健康診査	乳幼児の疾病の早期発見と成長の確認、保護者の相談に応じる機会として乳幼児健康診査を実施します。	健康増進課	●4か月児・10か月児・1歳6か月児・2歳6か月児・3歳6か月児健診を実施(各健診年24回以上実施)	●4か月児・10か月児・1歳6か月児・2歳6か月児・3歳6か月児健診を実施した。	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				

## 【目指す方向 行動目標】

○けん診を受診し、自分の健康状態を知ろう。

○健診結果を活用し、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に役立てよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。□（単年度実施のものでも構いません）

## 基本目標Ⅲ 生活習慣病の早期発見と重症化予防～けん診～

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず)

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

取組・事業	内容	担当部署	R3(2021)年度 取り組み計画	R3(2021)年度 実績	進捗状況	R4(2022)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・乳幼児健康相談	保健センターとコミュニティセンターにおいて、乳幼児健康相談を実施し、子どもの成長や育児の相談に応じ、適切な保健指導を行います。	健康増進課	●健康相談実施 保健センター(年24回) コミュニティセンターでの実施については、コロナ禍により中止中	●健康相談を実施 保健センター(年24回) コミュニティセンターでの実施は、感染症拡大により中止。 児童館での実施に向けて、協議中。	B	□令和3年度(実績)と同じ ☑新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 保健センターにて予約制で月2回実施予定。コミュニティセンターでの実施は、再開予定なし。児童館での実施に向けて協議中。	国保特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上 特定健康診査の受診率 全体 31.8% 特定保健指導の実施率 全体 15.4%	国保特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上 特定健康診査の受診率 全体 37.0% 特定保健指導の実施率 全体 17.3%	A A	60% 60%
・就学時健康診断	学校保健安全法等に翌年度の小学校就学予定者への健康診断実施が定められており、健康診断お結果に基づき、治療勧告や必要な助言などを行います。	学校教育課	●次年度小学校に入学予定の幼児を対象に就学時健康診断を実施  ●結果を保護者に通知し、受診が必要な場合は受診勧奨を実施	●次年度小学校に入学予定の幼児を対象に就学時健康診断を10～11月に実施した。  ●結果を保護者に通知し、受診が必要な場合は受診勧奨を実施した。	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	国保特定健康診査・特定保健指導におけるメタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少 40歳以上男性 44.7% 40歳以上女性 17.6%	国保特定健康診査・特定保健指導におけるメタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少 40歳以上男性 44.0% 40歳以上女性 18.5%	B B	↓
・各種けん診事業の推進	健康増進法に基づく各種けん診事業(各種がん検診、肝炎ウイルス検診、結核検診等)を実施し、市民の健康の保持増進を図ります。	健康増進課	●各種がん検診の実施 大腸がん検診 胃がん検診 肺がん検診 子宮がん検診 乳がん検診 ●肝炎検査の実施 ●結核検診の実施	●各種がん検診の実施 大腸がん検診 胃がん検診 肺がん検診 子宮がん検診 乳がん検診 ●肝炎検査の実施 ●結核検診の実施	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・特定健康診査・特定保健指導	40～74歳の国民健康保険加入者を対象に生活習慣病の発症・悪化予防のため、メタボリックシンドロームに着目した健診を実施し、生活改善が必要な人に対して特定保健指導を行います。 未受診者へのはがきや電話による受診勧奨、特定保健指導対象者への利用勧奨を行い、受診率、保健指導利用率の向上を図ります。	保険年金課 健康増進課	●未受診者に対して対象者ごとに内容を変えて受診勧奨を未受診者対策として実施(R1～)	●未受診者に対して対象者ごとに内容を変えて受診勧奨を行った。 ●特定健康診査・特定保健指導の実施 ●特定健診未受診者対策 ●特定保健指導の利用勧奨	B	□令和3年度(実績)と同じ ☑新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  令和4年10月末までに特定健診を受診した方へQUOカードを配布 特定保健指導を栗東駅前で行うことができるコースを設定				

## 【目指す方向 行動目標】

○けん診を受診し、自分の健康状態を知ろう。

○健診結果を活用し、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に役立てよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。□（単年度実施のものでも構いません）

## 基本目標Ⅲ 生活習慣病の早期発見と重症化予防～けん診～

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず)

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

取組・事業	内容	担当部署	R3(2021)年度 取り組み計画	R3(2021)年度 実績	進捗状況	R4(2022)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・後期高齢者の健康診査	後期高齢者医療制度加入者(満75歳以上の人、または65歳以上で一定の障がいがある人)を対象に、滋賀県後期高齢者医療広域連合から委託を受けて後期高齢者の健康診査を実施します。	健康増進課	●滋賀県後期高齢者医療広域連合から委託を受け、生活習慣病の発症・悪化予防のために健診を実施	●滋賀県後期高齢者医療広域連合から委託を受け、生活習慣病の発症・悪化予防のために健診を実施した。	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	国保特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上 特定健康診査の受診率 全体 31.8% 特定保健指導の実施率 全体 15.4%	国保特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上 特定健康診査の受診率 全体 37.0% 特定保健指導の実施率 全体 17.3%	A A	60% 60%
・プレ特定健康診査の実施	職場や学校で健診を受ける機会のない19歳から39歳の人を対象として、プレ特定健康診査を実施し、生活習慣や健康を振り返る機会を提供します。また、この機会を活用して、メタボリックシンドローム、生活習慣病に関する知識の普及を図ります。	健康増進課	●プレ特定健康診査の実施	●プレ特定健康診査の実施	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	国保特定健康診査・特定保健指導におけるメタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少 40歳以上男性 44.7% 40歳以上女性 17.6%	国保特定健康診査・特定保健指導におけるメタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少 40歳以上男性 44.0% 40歳以上女性 18.5%	B B	↓
・けん診についての正しい知識の普及	市が実施するけん診について必要性や検査方法等について正しい知識の普及と情報提供を行います。	健康増進課	●毎年4月号広報に、健康づくりカレンダーを折込み情報提供を実施 ●実施月の広報に各がん検診、結核健診、特定健診のお知らせを掲載する。 ●乳幼児健診時(1歳6か月、3歳6か月児健診時)、乳がん子宮がん検診のちらしを配付	●4月号広報に、けん診情報が掲載されている健康づくりカレンダーを折込み情報提供を実施 ●実施月の広報に各がん検診、結核健診、特定健診のお知らせを掲載する。 ●乳幼児健診時(1歳6か月、3歳6か月児健診時)、乳がん・子宮頸がん検診の受診勧奨チラシの配付を実施	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・けん診の受診勧奨	受診の機会や必要性などについて様々な機会を据えて情報提供を行い、けん診の受診率向上を目指します。	健康増進課	●乳幼児健診時(1歳6か月、3歳6か月児健診時)、乳がん子宮がん検診のちらしを配布。 ●乳がん検診、子宮がん検診、(胃がん検診)の個別通知。 ●乳がん、子宮がん大腸がん検診初達年齢時、無料クーポンの配布。 ●特定健診、後期高齢者健診受診券、後期高齢者の除外対象者への文章などに、各がん検診、結核検診のちらしを同封	●乳幼児健診時(1歳6か月、3歳6か月児健診時)、乳がん・子宮頸がん検診の受診勧奨チラシの配布を実施。 ●乳がん検診、子宮頸がん検診、胃がん検診の個別に勧奨案内を送付。 ●乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診初達年齢時、無料クーポンを送付。 ●特定健診、後期高齢者健診対象者へ受診券発送、後期高齢者の除外対象者へは、各種がん検診、結核検診の勧奨案内を送付。	B	☑令和3年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				